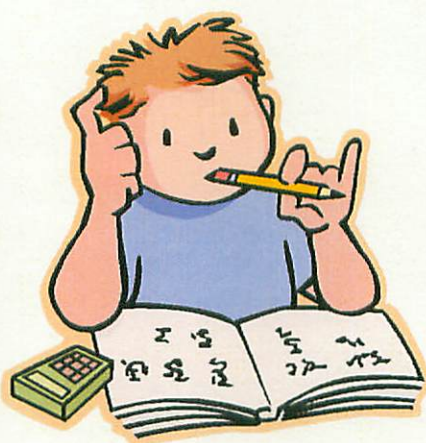


学習のてびき



船橋市立湊中学校

もくじ

・	中学校の学習について	P. 1
・	国語	P. 4
・	社会	P. 5
・	数学	P. 6
・	理科	P. 7
・	音楽	P. 8
・	美術	P. 9
	保健体育		
・	技術家庭	P. 10
・	英語	P. 11

湊中学校へのご入学おめでとうございます

1. 中学校の学習

中学校の授業は、教科ごとに専門の先生が行います。教科は、国語・社会・数学・理科・英語・音楽・美術・体育・技術家庭の9教科です。授業は50分で行います。

このほかにも、登校したらすぐに行う朝読書があり、進んで本を読む態度を身につけるように計画されています。

2. 授業への参加

中学生になると教科数も増え、学習の内容も質量ともに豊富になります。それだけ学習への取り組み方や方法を工夫しなければなりません。

学校での授業は、体の仕組みで言えば骨格にあたる大切な働きを持っています。まず丈夫な骨組みを作らなければなりません。

(1) 学習のきまり

しっかりと授業に参加することは、中学生にとってはとても大切なことの1つです。湊中では、次のような「学習のきまり」をもとに授業を行っています。1日も早く「学習のきまり」を身につけ、しっかりと授業を受けましょう。

学習のきまり

- ①始業3分前に席に着き、授業の準備をする。
- ②授業の始め、終わりの「号令」「礼」をきちんとする。
- ③指名されたら「ハイ」と返事をする。
- ④人の話をよく聞く
- ⑤忘れ物をしない

各クラスには、2人の『学習委員』がいます。学習委員は、授業3分前に3分前学習を呼びかけます。

また、教科ごとに2人の『教科委員』がいます。教科委員は、授業の前の日に授業で必要な持ち物を連絡し、授業開始前に忘れ物点検などの点検活動を毎回行います。

(2) ノートの取り方

ノートはほとんどの教科で『大学ノート』を使います。ノートとは、先生の話（聴覚）と教科書の文字や図表（視覚）を結びつけるものです。ノートを取ることで、先生の話や教科書の内容がまとめられるとともに、手で書くことによって記憶が定着します。

* ノートを書くポイント

- ・ 黒板をうつす。
- ・ 日付やページ数を書く。
- ・ 色ペンをつかう。
- ・ 必要なことをメモする。

ノートの使い方は、学年・教科によって変わります。詳しくは、教科のページを見て下さい。

3. 家庭学習の仕方

中学校の学習は小学校と違い、予習や復習、テスト勉強などの時間を自分でつくらなくてはけません。早いうちから、自分から学ぶ習慣を身につけることが大切です。そのことで、授業の内容がより深いものになり、学習の面白さも分かってきます。ここに家庭学習の持つ意味があります。

(1) 毎日の家庭での学習

寮中では、各教科で家庭学習の内容を指導しています。詳しい内容は、各教科のページを見て下さい。家庭学習は、机に向かって直接授業に関係のある教科や内容を学習するだけではありません。読書なども広い意味での学習になります。知性や教養は幅広い学習を通して身につきます。

(2) 帰宅後の生活設計を考える

大切なのは、毎日決まった時間に、決まった場所で学習することです。はやいうちから自分の生活のリズムをつくり、家庭学習の習慣をつけましょう。

以下に、湊中の先輩方の、帰宅後の過ごし方の例を紹介します。参考にしましょう。

◇1年生 男子 (卓球部)

15 16 17 18 19 20 21 22

部活	←冬の終了時間	←夏の終了時間	塾	夕食の時間
	自由			

ひと言アドバイス
夏と冬では部活の終了時間が違うので、気を付けてください。

◇1年生 女子 (ソフトテニス部)

15 16 17 18 19 20 21 22

部活	帰宅	準備など	塾	夕食	勉強	入浴	勉強	就寝
----	----	------	---	----	----	----	----	----

ひと言アドバイス
部活が終わると勉強する時間などが限られているので、テスト前などは、必ず計画的に勉強した方がいいです。

◇1年生 女子 (吹奏楽部)

15 16 17 18 19 20 21 22

部活	帰宅	自由時間	勉強 or 読書	夕食	風呂	勉強 読書	自由	寝。
----	----	------	----------	----	----	-------	----	----

ひと言アドバイス
勉強だけだと、つらいので、たまに、息抜きしよう!!

◇ 2年生 女子 (柔道部)

15 16 17 18 19 20 21 22

学校(部活)	↓家	明日の準備	勉強(30分ごと15~15分休憩)	飯	勉強	風呂	勉強
--------	----	-------	-------------------	---	----	----	----

ひと言アドバイス

ラスト前だからので勉強時間が長..ですが普段は時間を短くします。
 ティータイムは30分ごとに線がついていますが、15分ごとなど、自分が間隔を短くしてみると、
 見返した時に、「この時間はもう少し有効に使えたんじゃないか。」と思うこともあるので
 おすすめです。

◇ 2年生 男子 (野球部)

15 16 17 18 19 20 21 22

学校	部活	自由	勉強	ごはん	T	勉強	自由	勉強	風呂	勉強
----	----	----	----	-----	---	----	----	----	----	----

ひと言アドバイス

お勉強を続けていると集中力がなくなるので自由時間などを勉強の合間にとりこめ
 たいです。おみんの前に20分ほど復習をばといてあげてください。

◇ 2年生 女子 (吹奏楽部)

15 16 17 18 19 20 21 22

学校。	部活。		夕食。	TV。	勉強。	TV。	入浴。
-----	-----	--	-----	-----	-----	-----	-----

ひと言アドバイス

1日2時間、毎日勉強するように心がけてます。

(3) 予習・復習と宿題の関係を考える

宿題は予習と復習があり、教科によって割合が違います。何らかの形で授業につながっているの、必ず時間をとって、じっくり取り組みましょう。

(4) 家庭学習でつまずいたら

1人で勉強していると、どうしてもわからないことが出てくるものです。こんな時は、自分がどう考えたか書き残しておき、次の日に先生や友達に聞いて、解決する習慣をつけたいものです。分からないままにしないことが大切です。

4. テスト勉強

(1) 定期テストについて

中学校では、前期2回、後期2回、計4回の定期テストがあります。

中間テストでは5教科（国語、社会、数学、理科、英語）
期末テストでは9教科の試験を行います。

定期テストは、授業で学習した内容を総合的に判断するために行います。その結果は成績に大きく反映します。毎日の授業での学習と、家庭での学習が確実に行われていれば、テスト前に特にあわてて勉強する必要はありませんが、自分の力がどれくらい伸びたかを確認するチャンスとしてテスト勉強に励みましょう。

なお、中学校では生徒会活動、部活動などが行われていますが、定期テスト3日前とテスト期間中は諸活動が中止になります。

*1年間のテスト計画の例

4月	実力テスト
6月	中間テスト
9月	夏休み明けテスト
9月	期末テスト
11月	中間テスト
1月	冬休み明けテスト
2月	期末テスト

(2) テスト勉強の計画

定期テストの2週間前に、テスト範囲と勉強のポイントが発表されます。そして、テスト勉強の計画表が渡されます。

ただし、2週間で習った内容を全部やろうとしても無理です。計画を立てるときは、何を重点的に勉強するかをはっきりさせることが重要です。また、計画表通り学習をしていくことも大切ですが、やってみて足りないところなどを見つけたら計画の修正をしながら進めることも計画表の上手な活用の仕方です。

5. 学習と部活の両立

中学校生活の魅力の1つに、部活動があげられます。湊中の生徒は日々部活動に励んでいます。ほとんどの生徒が部活動と勉強を両立させています。部活動をやっているから少々成績が悪くても仕方ないと思いがちですが、このような考え方は、あとで取り返しがつかなくなる場合があります。

部活動をやらない人以上に勉強しようとする意欲をもつことが必要です。帰宅と同時に疲れた体を横にし、寝てしまうこともあるでしょう。しかし、それを我慢する精神力は、当然部活動の中で培われているはずで

す。また、少ない時間を有効に使うことも学習と部活動を両立させる大事なポイントです。短時間でも家庭学習の能率が上がるような上手な時間の使い方を心がけましょう。

6. 学習の能率を上げる健康的な生活

みなさんの生活は、テレビ・ゲーム・インターネット、そして塾などで寝る時間が遅くなりがちではありませんか？そんな日の翌日は頭がぼーとして授業に集中できず、「寝不足」や「体調不良」を訴える人が多く見られます。

夜型の生活は体のリズムをくずし、学習に対する集中力や思考力を低下させます。学習効果を高めるためには、①十分な睡眠、②バランスのよい食事など規則正しい生活を送るように心がけましょう。

(1) ぐっすり睡眠

成長ホルモンは、睡眠中と運動中に体に働きかけます。また、1日の疲れをとるのも睡眠中に出てくる成長ホルモンです。成長ホルモンが多く分泌される時間帯は、10時頃だといわれています。中学生のうちは、7～8時間程度の睡眠時間をとるよう心がけましょう。

(2) ゆっくり食事

1日3回、規則正しく、バランスのよい食事をとるようにしましょう。特に朝食は、起床から昼食までの約6時間のエネルギー源です。中学生は成長期であり、運動量も多くなります。朝食を抜くと体調をくずしやすく、思考力も低下します。余裕をもって早起きをし、朝食はよくかんで食べましょう。よくかむことで脳への刺激になり頭の回転が良くなります。

国語

1. 国語の学習のねらい

(1) 国語を学習する必要性

私達は日常生活のいろいろな場面で言葉を使います。国語はその言葉や文字を学習します。言葉を豊かにすれば、日常の生活が楽しく、より充実したものになっていきます。

主な学習内容は「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4つです。どれも人の考えを受け止め、それに対して自分の考えを持つためのものです。

(2) 国語の良さ、面白さ

国語は文章を通して、いろいろな人と出会うことができます。生きている人はもちろん、昔の人々とも会うことはできるのです。そして、いろいろな人の、ものの見方や考え方を知り、自分の考えを深めることができます。

授業では「読むこと」が基本になります。教科書をじっくり読み、感じたことや疑問に思ったことを文章にまとめたり、積極的に発言してみてください。そうすることにより自分の考えが整理されます。また、他の人の意見を聞くことで、さらに考えが深まったり、幅を持ったりできます。

発表の前に自分の考えをメモしたり、学習したことのまとめとして記録を取ることも国語の大切な学習です。

2. 国語の学習内容

国語の学習は文章の読み取りや、味わうこと、自分の考えを表現することです。分野としては、小説(物語など)、説明文、随筆、古典(明治時代以前の文章)、俳句、短歌、詩、作文、文法などがあります。

3. 学び方について

授業のすすめ方

用意する物――教科書、ノート(縦書き) 国語辞典

どんなものがよいかは授業で説明があります。

- ・ 3分前学習で漢字練習を行います。
- ・ 週に一回程度、確認の小テストを行っていく予定です。

【ノート作成 例】

授業の目標

日付

6/8 (水)

この詩を読んで、気づいたこと、疑問に思ったこと

・ 呪いとうろ以外は全て、行り終わり、「し」がついている。
 ・ 反復法が使われている。「うんさんうんさん」
 ・ 擬声語が使われている。「はははは」「ぐぐぐ」
 ・ 象人法が使われている。「月だけ女とワ」
 ・ 「おまじ」もつけたりする。

6/8 (水)

・ 反復法…同じ言葉くり返し使った強調する

・ 象人法…人ではないものを人にたとえること

・ 擬声語…音

・ 擬態語…状態

・ 直喩法…「うろは」「かたい」を月にする

・ 隠喩法…「比喩」で曲まことを直喩に示さない
 花とえさまうとを直接結びつける

使われていること

ふしぎな自然現象

頭蓋(うしろたまご)

小しき(うしろたまご)

月(うしろたまご)

オソベル(うしろたまご)

河童(うしろたまご)

オソベル(うしろたまご)

4. 家庭学習

- ・次に学習するところを読んでおきましょう。
- ・新聞を読んで世の中の動きに関心を持ちましょう。
- ・漢字練習や意味調べを行って、知っている言葉を増やしましょう。

↑
授業を聞いて
自分で書いたメモ

5. 夏休み・冬休みの課題について

- ・読書感想文、人権作文などの作文を書きます。
- ・冬休みには、書き初めを行う予定です。

6. 自由研究

授業で例を紹介します

社会

1. 社会科学習のねらい

私たちの生活している社会は、いまや大きく変わり始めています。IT革命、地球的規模による環境破壊などあげればきりがありません。昔でしたら、国内の問題は国内で解決できたでしょうが、現在は国際化の時代のために世界的な視野での解決が必要となっています。そのため、世界で起こった出来事は、我が国に大きな影響を与えます。また、我が国で起こった問題は、世界の国にも影響を与えるばかりか、世界の国の問題と関わりをもっているのです。このように、世界と日本の社会は、互いに関連しあっているといえます。

ところで、社会科では、地理的分野・歴史的分野・公民的分野の3つの分野の学習をします。これらの学習では、現在の社会生活に必要な知識を身につけることとともに、国際的な視野や思考を会得することが大切になります。こう考えてみると、社会科はただ暗記すればよい教科ではないことがわかると思います。社会のいろいろな出来事をさまざまな視点から調べ、考えてその出来事の本当の姿を明らかにすることを学習の中心とする教科です。

そして、広い視野に立って、世界の人々とともに、新しい社会を作り上げていく日本人に成長して行ってほしいと思います。

2. 社会科の主な学習内容

1年	地理的分野・・・世界のさまざまな地域、日本のすがた 歴史的分野・・・文明のおこりと日本列島～ゆれ動く武家政治と社会
2年	地理的分野・・・世界から見た日本のすがた、日本の諸地域、身近な地域 歴史的分野・・・近世の日本と世界～日清・日露戦争
3年	歴史的分野・・・二度の世界大戦と日本～冷戦の終結とこれからの日本 公民的分野・・・私たちと現代社会、日本国憲法、政治、経済、国際社会

3. 社会科の学び方

(1) 心がまえ 1時間の授業を大切にし、学習したことを自分のものにするために次のことを心がけてほしいと思います。

- ①社会の出来事について、常に関心を持ち、疑問な点は深く追求する意欲を持ちましょう。
- ②学習することを、単に暗記するのではなく、考えること（比較する、結びつける、統合する）、調べることを学習の中心におきましょう。
- ③学習の手がかりとしての資料を大切にしましょう。

(2) 教科書・資料集・地図帳の使い方

- ①図表・写真の利用・・・教科書や資料集に載っている資料は問題を解く手がかりとなります。また、地図を日頃から見慣れることで、都道府県や国名、地形なども自然と頭に入っていきます。
- ②太字に注目・・・太字は重要事項です。正確に読めるようにし、意味も調べておきましょう。

4. 家庭学習の仕方

授業があった日には、必ず教科書とノートを持ち帰り、授業内容の復習をしましょう。

日常生活の中での学習＝社会の出来事を学習に生かしていきましょう。

- ①新聞を読む
- ②テレビ・ラジオを利用する。
- ③図書館の本を読む
- ④旅行を活用し、学習する。

5. 自由研究の取り組み方

毎年の夏休みには、積極的に社会科の自由研究に取り組むことを奨励しています。その時には、自由研究の仕方、レポートの書き方などくわしく説明しています。毎年船橋市の社会科作品展に何人かの生徒が出展し入賞しています。

数学

1. 数学科の学習のねらい

文明のおこりは、古代エジプトからとされている。それは7000年も前のことであった。よく写真や絵画でみるあの大ピラミッドも5000年も前に建設された。なかでも7つのピラミッドの高さは148m、底面の各辺は230m（正方形）、しかも正確に東西南北を向いている。1個2トンから3トンの巨大な石を230万個も積み上げたというのだから驚いてしまう。これはエジプトに当時から高度な数学があった、と見ることができる。数学はもともと人類の発生とともに起こり、人類と一緒に発展してきた。数学を勉強して、数学のもっている魅力やよさを見つけられるようにしよう。

2. 数学科の学習内容

(1) 数と式

小学校では、整数や分数、小数を学習しました。中学校ではこれを基にマイナスの数（負の数）について学習します。さらに、文字を利用して学習した法則を簡単に表したり、問題を解いたりします。

1年	正の数・負の数、文字の式、一次方程式
2年	式の計算、連立方程式
3年	式の計算、平方根、二次方程式、因数分解

(2) 図形

1年生では、基本的な作図、空間図形についての学習が中心になります。

1年	平面図形、空間図形、円の性質
2年	図形の調べ方、図形と合同
3年	図形と相似、三平方の定理

(3) 数量関係

1年生では、小学校で学習した比例、反比例をマイナスの数まで広げて、グラフ・表を書いたり、式を求めたりします。

1年	比例と反比例、資料の活用
2年	一次関数、確率
3年	関数、標本調査

3. 数学の学び方

数学は、次々と土台を築いていく教科なので、基礎的なことを大事にして少しずつ積み重ねていきましょう。数学が苦手な人にかぎって、難しい問題を解こうとする人が多くいます。しかし、こういうときこそ、思い切って基礎からやり直していくことの方が早道で、確かなのです。

授業では、先生の話をよく聞き、教科書の重要なところにアンダーラインを引いたりして、ポイントをのがさないようにすることが大切です。

4. 家庭学習の仕方

学校の授業で、わからないところはそのままにしないでどんどん先生に質問しましょう。

家庭での数学の勉強は、まず予習ですが、授業の前に一度教科書を読んでおくだけでも授業のときに先生の質問や説明がわかりやすくなるはずです。さらに、復習はもっと大切です。授業でわかったと思っても、「わかった」「できる」は違います。授業でわかったら、家でできるまで復習しましょう。

5. さらに、数学に興味のある人は

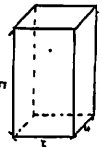
教科書にあるような問題とは違って、次のようなものはさらに数学に対する興味を引き出すだけでなく、力もつけてくれるはずです。

- ①パズルの作成-----魔法陣、虫食い算、覆面算、一筆書きなど
- ②パソコンの利用-----プログラミングの学習をして自分でゲーム作成
- ③インターネットの活用-----インターネット上に数学の問題があるサイトが多くあります。

<ノートの取り方・お手本>

角柱・円柱の表面積

角柱




側面積 → $5 \times 7 \times 2 + 4 \times 7 \times 2 = 70 + 56 = 126$ $A_{側}$

底面積 → $5 \times 4 = 20$ $A_{底}$

表面積 → $126 + 20 \times 2 = 166$ $A_{全}$

大物!!
底面積は底面の長さを掛ければいい!!
側面積は底面の長さを掛ければいい!!
表面積は底面積の2倍に側面積を足せばいい!!

円柱



側面積 → $2\pi r h = 2\pi \times 2 \times 10 = 40\pi$ $A_{側}$

底面積 → $\pi r^2 = \pi \times 2^2 = 4\pi$ $A_{底}$


表面積 → $40\pi + 4\pi \times 2 = 48\pi$ $A_{全}$

大物!!
底面積は半径を掛ければいい!!
側面積は底面の長さを掛ければいい!!
表面積は底面積の2倍に側面積を足せばいい!!

1年生のノート

P108 性質3の証明

仮定... $AB \parallel DC, AD \parallel BC$
結論... $AO = CO, BO = DO$



$\triangle ABO \cong \triangle CDO$ $\because AB \parallel DC \rightarrow \angle BAO = \angle DCO$
 $\angle ABO = \angle CDO$
 $\therefore \triangle ABO \cong \triangle CDO$
 $\therefore AO = CO, BO = DO$

練習問題

① $\angle A = 40^\circ, \angle B = 50^\circ$
 $\angle C = 70^\circ, \angle D = 110^\circ$

② $\triangle ABO \cong \triangle CDO \because AB \parallel CD$
 $\angle AOB = \angle COD$
 $BC \parallel AD$
 $\angle AOD = \angle COB$
 $PO = OQ$
 $\therefore \triangle APO \cong \triangle CQO$
 $\therefore AO = CO$

③ $\angle A = 70^\circ, \angle B = 80^\circ, \angle C = 90^\circ, \angle D = 110^\circ$

2年生のノート

理科

1. 理科の学習のねらい

近年、3D映画や電気自動車、ハイブリッドカーが話題になり、テレビもデジタル化されるなど、科学技術が急速に進歩しています。身の回りの電化製品にも目に見えないところでコンピュータが使われています。社会はこれらの高度な技術に支えられているといっても過言ではありません。この基礎を学ぶ理科学習はとても大切なものです。

むろん技術面だけでなく、自然、環境学習の面においても、理科学習の果たす役割は重要です。自然を愛し、豊かな自然を積極的に守っていこうとする態度や能力を身につけさせることも大切です。自然の美しさや不思議さに気づき、それらを調べていく過程を通して自然に対する認識が深まります。そのため、理科では観察や実験などの体験的活動を中心とした授業を行っています。

中学校における理科学習の大きな目標は次の5点です。

中学校理科の目標

- (1) 自然の事物・現象に進んでかかわること。
- (2) 目的意識をもって観察、実験などを行うこと。
- (3) 科学的に探究する能力の基礎と態度を育てること。
- (4) 自然の事物・現象についての理解を深めること。
- (5) 科学的な見方や考え方を養うこと。

目標をどの程度まで達成できたかということについては、次の4項目について評価しています。

評価の項目

- (1) 自然事象への関心・意欲・態度
- (2) 科学的な思考・表現
- (3) 観察・実験の技能
- (4) 自然事象についての知識・理解

2. 理科の学習内容

	1 分野 (物理・化学)	2 分野 (生物・地学)
1 年	身のまわりの現象 物質のすがた	植物の生活と種類 大地の変化
2 年	電流とその利用 化学変化と分子・原子	動物の生活と種類 天気とそその変化
3 年	運動とエネルギー 化学変化の利用 科学技術と人間の生活	細胞と生物のふえ方 地球と宇宙 人間と自然

3. 理科の学び方

理科の授業は、教室で行う場合と、実験室で行う場合があります。実験室で行う場合は、次のきまりを守り、安全に授業が行えるようにしましょう。

実験室のきまり

- 一、説明を聞くときは顔を前に向けること。
- 一、実験室内の物には勝手に触れないこと。
- 一、走ったり歩きまわったりしないこと。
- 一、実験道具は指示されたこと以外に絶対に使用しないこと。
- 一、もと来た時よりきれいな状態にして帰ること。
- 一、物は大切に使うこと。

◇授業中の心構え、態度

- ・話をよく聞く。
話している人の目を見て、きちんと聞きましょう。
- ・しっかりとノートをとる。
黒板に書かれた内容をノートに写します。色ペンなどを使って仕上げましょう。
- ・メモをとる。
黒板に書かれたこと以外にも、先生が言った内容、自分が考えたことなどを書き込みましょう。
- ・目的を理解して観察，実験に取り組む。
説明をよく聞き、目的を理解して作業に集中しましょう。

◇用意する物

・教科書	・ノート（大学ノート）	・定規
・のり	・はさみ	・蛍光ペン，色ペンなど

※ 学年によって違います。詳しくは最初の授業で説明があります。

4. 家庭学習の仕方

理科の家庭学習は、復習に時間をかけましょう。授業のノートや教科書を見直し、疑問に思ったことは調べたり、先生に質問をするとよいでしょう。

また、理科は自然について学ぶ教科ですから、いつも身の回りのいろいろな自然現象に興味を持ち、「なぜだろう」という素朴な疑問をもつことが大切です。

- ・科学館や博物館，プラネタリウムなどに行く。
- ・動物園や水族館に行く。
- ・テレビの特集やドキュメント番組を見る。 など…

様々な情報を上手に利用したいものです。

音楽

1. 音楽の学習のねらい

(1) 音楽を学習する必要性

音楽には、大きく分けて2つの学習内容があります。それは、表現（歌唱、器楽、創作）と鑑賞の2つの分野です。それらは、私たちの生活を明るく、豊かにしていくために大きく力となるものです。

表現活動では、自分の気持ちを素直に表現できる力や、曲の持つ良さを自分から表現できる力を高めることができます。また、そのために必要な楽譜を正しく読み取るという内容についても学習します。

鑑賞活動では、世界の優れた芸術音楽や伝統音楽を継承し愛好する心を育てると共に、さまざまな音楽を聴くことを通じて、音楽が生涯の友となるような学習をしてゆきます。

(2) 音楽の良さ

音楽の授業というと、ついついかしこまりがちで「私は、音痴だ」とか「クラシック音楽は分からない」などの声を聞きますが、人は誰でも自分を表現する力や、良いものを聴き取り感じ取る力を持っているものです。また、その気持ちを多くの人と分かち合いたいという願いも、心のどこかにあるものです。最初は恥ずかしいかもしれませんが、思いきり声を出してみてください。とてもすがすがしい気持ちになるものです。そして、その声がクラスや全校の仲間と響き合って、美しいハーモニーが生まれた時、そこに大きな感動が生まれるのです。

また、自分の気持ちが落ち込んでいる時に音楽を聴くと勇気や元気が出てくることもあられると思います。それは、別にクラシックに限ったことではありません。音楽とは、読んで字のごとく「音」を「楽」しむことなのです。

2. 音楽科の主な学習内容

①歌唱

*歌を学ぶのに大切な要素は、次の4つです。湊中ではクラスや全校の合唱作りを中心に学びます。

姿勢

呼吸法

発声法

表現法

②鑑賞

*音楽を深く聴き取り、感じ入るためには、次の要素が大切になります。

味わう

聴き分ける

聴き取る

音楽の歴史

③器楽・創作

*時間はあまり多くとれませんが、いろいろな楽器の演奏や、音楽創作の学習などを取り入れていきます。

3. 学び方について

『授業の流れ』

- (3分前) *忘れ物調べ(教科委員)
*忘れ物をしたら、先生にも申し出ること

(5分)

今日のめあての確認(評価記録に記入)

(5分)

発 声 練 習

(35分)

歌の練習・鑑賞(今日の学習内容)

(5分)

評価記録の記入

『音楽室での約束』

- ①音楽室では、楽しく歌えるような雰囲気をみんなで作っていきましょう。
- ②曲を聴いたり、友達の発表を鑑賞する時は、美しさやおもしろさを聴き逃さないように、いつでも感動できる心の準備をしましょう。
- ③楽器や視聴覚機器などは、いつでも良い音が出るような扱いをしましょう。

*すばらしい音楽に素直に感動できる心を大切に、
互いに感動を分かち合うことのできる仲間を求めていきましょう。

美術

学習のねらい

(1) なぜ美術を学ぶのでしょうか

もし世の中に美術がなかったらどうでしょうか。きれいな色彩もすてきなデザインの車や家具も美しい衣服もない無味乾燥なものになってしまいます。人間の生活と美術は、しっかりと結びついているのです。そして美術は、1人1人に生き甲斐を与え、人間らしい心を育てます。

(2) どのようなことを学び、どんな力がつくのでしょうか。

- | | |
|--------------------|-----------|
| ・美しいもの、真実のものを感ずること | (感性) |
| ・思いめぐらすこと | (想像力、発想力) |
| ・物事をじっくり観察すること | (観察力) |
| ・考え、練ること | (想像力) |
| ・自分の考えを表現すること | (表現力) |
| ・物事に取り組むこと | (集中力) |

このようなことを学び、自分の力にしていく中で

- ・思い通りにいかずに悩むこともあるでしょう。
- ・友達の作品を見て、学ぶこともあるでしょう。
- ・他の人にはない自分独自のものを作ろうという思いも強くすることでしょう。

「もともと絵がうまい」とか「苦手だから」という言葉に関係なく、一つの作品を作り上げていく中で、上にあげたようなことを学び取ることができるのです。大切な事は、努力する心です。授業の1時間1時間を大切に、真剣に取り組むことによって満足のいく作品を仕上げることができます。

学習する上での約束

授業前の心構えや、きちんとした準備によって制作は順調に進められます。

忘れ物をしない → 教科委員の連絡をよく聞く

授業には遅れない → 移動は速やかに

私語をしない → 制作に集中

⇒ よい作品

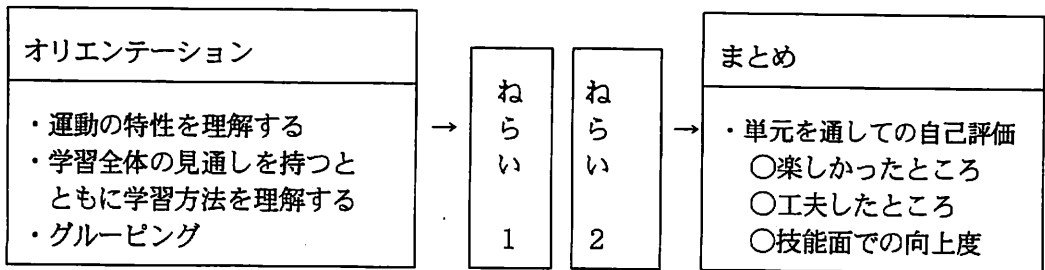
保健体育

(1) 保健体育科の学習のねらい

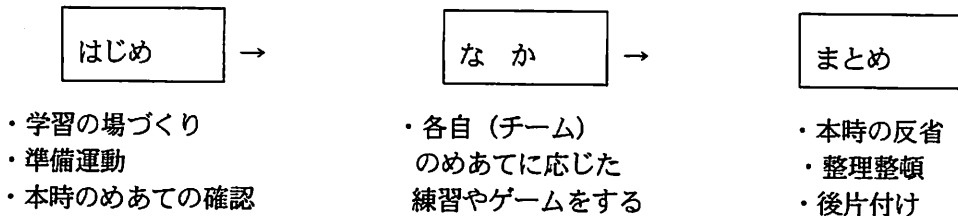
- ・生涯を通してスポーツに親しむ姿を目指し、積極的に運動に親しむ姿勢や能力を身につけ、自ら心と体を鍛えることのできる人間の育成を図る
- ・健康の保持増進と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む人間の育成を目指す
- ・運動技能を高めるとともに運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする

(2) 保健体育の学習内容

①単元の流れ



②1時間の流れ



③中学における学習単元

- ・集団行動
- ・器械運動 (マット、跳び箱)
- ・バスケットボール
- ・ソフトボール
- ・体づくり運動
- ・陸上競技
- ・水泳
- ・ダンス
- ・新体カテスト
- ・ハンドボール
- ・サッカー
- ・武道 (剣道)

(3) 保健体育の学び方（授業の約束）

①時間を守る

- ・ 3分前から用具の準備や準備運動ができるように、授業場所へ移動する
- ・ 集合、整列の時間短縮を図る
- ・ 授業後は次の授業に遅れないように、速やかに移動する。（教科委員が指示）

②忘れ物をしない

- ・ 3点セット（教科書、ファイル、筆記用具）を常に活動場所に持ってくる
- ・ 名前（ジャージ、半袖、ハーフパンツ）を所定の場所にきちんと記入する
- ・ 物の貸し借り（ジャージ、筆記用具、靴など）は禁止

③ルール・マナーを守る

- ・ 授業の約束事、種目毎のルールを守る
- ・ 互いに協力し合い、励まし合うことを忘れず、自分勝手な行動をしない
- ・ 服装をきちんとする
(半袖をハーフパンツから出したり、ジャージのファスナーを開けない。ジャージの中やポケットに手を入れない。くるぶしソックスははかない。)
- ・ 他人を不愉快にさせる言動をしない
- ・ 安全確認を必ず実行する（用具だけでなく、爪、髪の毛等も確認する。）
- ・ 施設、用具を大切に扱う（授業終了後、元の場所に必ず返す）
- ・ 見学者はメモ用紙に見学理由を記入し、保護者及び学級担任の許可を得たうえで教科担任に申し出る。見学時の服装は原則として体育の時間と同じとする。

(4) その他

○ファイル（学習ノート）の活用の仕方○

- ・ 授業での説明を基に、毎時間感想を記入する。
- ・ プリントなど配布された資料をきちんとファイルにはさむ。
- ・ 個人で記入するめあてや反省などはしっかりと書くこと。
- ・ 「次時の課題」をもとに、次時の学習目標を確認し、学習内容を調べておく。
- ・ 教科担任から指示があれば必ず提出する。（単元が終わってから等）

技術・家庭科

1. 学習のねらい

技術・家庭科では、私達の現在及び将来の生活に必要な技術を学びます。それを生活に活用して、生活を明るく豊にする力を育てるための教科です。そこで、この教科では、実践を通して次のことを目標にして学んでいきます。

- ・基礎的な技術を学び、その科学的な根拠を理解する。
- ・創意工夫して、ものを作る。
- ・仕事を、計画的・合理的に進める。
- ・協力と責任と安全を大切にする。
- ・技術と生活との関連を理解し、実際に活用する。

2. 主な学習内容

3年間で以下の内容の中から3～4つ学習していきます。

技術科

- A：材料と加工に関する技術
- B：エネルギー変換に関する技術
- C：生物育成に関わる技術
- D：情報に関する技術

家庭科

- A：家族・家庭と子供の成長
- B：食生活と自立
- C：衣生活・住生活と自立
- D：身近な消費生活と環境

3. 学び方

- ①休み時間内に技術科室・家庭科室（被服室・調理室）に移動し、授業の準備をする。（教室の場合もあります。）
- ②忘れ物をしない。
- ③自分の持ち物には、必ず記名をし、大切にする。
- ④学校の施設や道具など大切に扱う。
- ⑤実習では先生の指示に従い、安全に気を配りながら能率良く作業をすすめる。
- ⑥授業中の「なぜだろう」「どうしたらよいだろう」などの疑問点をそのままにしないで、それを解決する努力をする。
- ⑦学習の自己評価を行い、できなかったところはもう一度やり直してみる。
これは、制作学習の時には、特に必要なことです。
- ⑧学習したことを、家庭でも実践してみることが大切です。

英語

1. なぜ英語を勉強するのか

年々、日本人も仕事や勉強、観光などのために外国へ行く機会が増えてきています。また、外国の人たちも多く訪れ、日本で働く人たちも増えています。外国の人々の考え方や生活を知ったり、自分達のことを正しく理解してもらうことは国際理解につながることであり、そのために外国語学習は欠くことのできないものです。外国語を勉強することは、その人の日本語能力を高めます。そしてものの見方、考え方を幅広くさせてくれます。そして、自分の将来が広がっていきます。

一口に外国語といっても英語、中国語、フランス語、ロシア語、ドイツ語、韓国語、スペイン語、そのほか数多くの言語があります。みなさんが学ぶ英語は其中でも世界中の多くの人々が使っている言語です。英語を学んで、世界の人々の心を知る楽しさを味わいましょう。

2. 授業の心構え

(1) 3分前学習をする。

机の上に道具を出して、まず準備です。次に自分で英語の勉強を始めてください。(先生からやり方の説明を聞いてください。)

(2) 気持ちを落ち着ける。

気持ちが落ち着くと集中力がつきます。先生の説明、友達の発表を相手の顔を見て聴くと集中力が高まります。

(3) 忘れ物をしない。

教科書、ノート、ワークブック、プリント類、辞書(英和、和英など)等、前の日までに学習道具を確かめましょう。

(4) 予習をする。

ーやることの例ー

・本文写しや単語の意味調べをして、どんな内容なのか前もって大まかに知っておくと授業がわかりやすくなります。

・難しそうなところは、線を引くなど印を付けておくとよいです。

(5) はっきりした声で英語を読むこと。声をしっかり出すと発音がよくなります。

(6) 黒板に書かれたことだけでなく、自分で大事ななど思ったことはノートに書き足しましょう。

(7) 普段から先生や友達に質問するようにしましょう。

3. 家庭学習の仕方

英語は積み重ねの教科といわれます。毎日の繰り返しの学習が効果的です。

基本の勉強

- (1) 教科書やノートの文を声に出して読む。(読めないところは次の日に質問する。)
- (2) 大事な文を暗唱する。(ノートに書かれたことや教科書の文を暗記して、声に出して言う。)
- (3) 宿題を家でやること。(わかるところは必ずやり、わからないところは聞こう。)
- (4) 単語の整理。単語とその意味を書いてノート整理をする。(予習をしない場合はやること)

さらに、

- (5) 問題集(学校のワークブックや市販の問題集など)でいろいろな問題に慣れておく。
- (6) CDなどを使ってListeningの練習をする。
- (7) 教科書の新出単語をノートに書いて、日本語の意味を書く。(予習)
(意味は教科書の後ろにのっている。辞書で調べてもよい)
- (8) 教科書の本文(英文)をノートに書いて、日本語の意味を書く。(復習。しかし、予習として挑戦してもよい)

*復習としてのやり方なら、授業で習った後でやる。

予習としてのやり方なら、前もってわかるところだけやってみるなど、自分のやり方にあわせよう。

4. 終わりに

英語は自分の目、耳、手、口、頭などいろいろな器官を使って学ぶとしっかり身に付きます。テレビやラジオの英語番組(基礎英語1、2、3など)、歌、映画などたくさんの英語に触れ、ALTの先生や外国の人と直接話したりしてたくさん使ってみましょう。

英語を勉強して、地球上のいろいろな国の人々と気持ちが通じ合えるようになるといいです。